

地域材使用に関する共通ルールの、
具体的取り組み内容が確認できる
よう、使用部位、使用量、使用割
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位
に違いがないが確認してください。

様式4（建築物）

1の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

記入例 1

対象建築物の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

！ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場

地域材を利用する部材の使用量計画表（注1,2,3）

共通ルールで定めた 使用部位（注3）	材積（注4,5,6,7）				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量（B）				共通ルールで定めた使用割合、使用量	共通ルールに応じて単位 を記入してください。
	対象部位毎の使用量の 合計（A）	単位	対象部位毎の使用量の 合計（A）	単位	対象部位毎の使用量の 合計（A）	単位	対象部位毎の使用量の 合計（A）	単位		
柱	3 8 2	m3	3 1 2	m3						
梁・桁	6 5 7	m3	3 4 2	m3						
土台	1 2 4	m3	0 0 0	m3						
合計	1 1 6 3	m3	6 5 4	m3						
対象木材の使用割合 （B/A×100）			5 6	%						

主要構造材（柱、梁、桁、土台）の過半に地域材を使用

小数点はこの位置。

記入例 2

共通ルールの内容
仕上材に地域材を10m2以上使用する。

合計										
対象木材の使用割合 （B/A×100）										
					1 2 3 4	m2				
合計					1 2 3 4	m2				
対象木材の使用割合 （B/A×100）										

仕上材に地域材を10m2以上使用

小数点はこの位置。

共通ルールに応じて単位
を記入してください。

（注1）地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でま

（注2）共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容

（注3）工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材（柱・梁・桁・土台）を他の工法で読み替える場合は、丸太

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階（最下階）床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

（注4）木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

（注5）共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、（A）欄に

（注6）共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、（A）欄は空欄とし、（B）欄に「地域材」に該当する

（注7）共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 【H27】建築物 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量計画表

使用割合を共通ルールで
定めていない場合は記入
不要です。

1枚に記載できない場合は、この
様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。
【H27】建築物と記載されている様
式を使用してください。

地域材使用に関する共通ルールの、
具体的取り組み内容が確認できる
よう、使用部位、使用量、使用割
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位
に違いがないが確認してください。

様式4（建築物）

1の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

記入例 3

・対象建築物の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

！ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は

BELSで f) 内外装木質化 i) 床、壁、天井などの内
装について、床面積の過半の面積を地域材による仕
上げを選択した場合。

・地域材を利用する部材の使用量計画表（注1,2,3）

共通ルールで定めた 使用部位（注3）	材積（注4,5,6,7）				共通ルールで定めた使用割合、使用量
	対象部位毎の使用量の 合計（A）	単位	左欄のうち「地域材」に 該当する使用量（B）	単位	
床			9 2 0 0	m3	
壁			3 5 0 0	m3	
			12 7 0 0	m3	234m2 × 1/2 = 117m2
対象木材の使用割合 (B/A × 100)				%	
合計					
対象木材の使用割合 (B/A × 100)				%	
構造材(柱・梁桁・土台)			1 6 6 7	m3	
2次部材 (母屋・棟木・大引・束)			5 3 5	m3	
羽柄材(根太・垂木)			2 5 0	m3	
仕上材(床材)			3 7 2	m3	
合計			2 8 2 4	m3	延べ床面積 234.28㎡ 234.28㎡ × 0.12㎡/㎡ = 28.11㎡ < 28.24㎡ ∴ OK
対象木材の使用割合 (B/A × 100)				%	

百の位を入力する場
合は2桁で入力して下
さい。

共通ルールでは部位を
指定していないが、対
象とした部位を記入し
てください。

記入例 4

共通ルールの内容
延べ床面積 1m2あたり0.12m3以上の地域材を使用す
る。

共通ルールの適合が確認
できるよう計算式を記入
してください。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめて
ください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合
うよう集計し記入してください。

(注3) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材(柱・梁・桁・土台)を他の工法で読み替える場合は、丸太
組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階(最下階)床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

(注4) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注5) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「〇〇%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄に
は対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注6) 共通ルールで「〇m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する
木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。【H27】建築物 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量計画表

1枚に記載できない場合は、この
様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。
【H27】建築物と記載されている様
式を使用してください。

地域材使用に関する共通ルールの、
具体的取り組み内容が確認できる
よう、使用部位、使用量、使用割
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位
に違いがないが確認してください。

様式4（建築物）

1の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象建築物についてはシートを追加して作成してください。

記入例 5

地域材使用量計画表【補助金申請書】

・対象建築物の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

！ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は、

共通ルールの内容

柱には杉の地域材を100%使用し、梁、桁には地域材を50%以上、土台と合わせて全体で70%以上の地域材を使用する。

・地域材を利用する部材の使用量計画表（注1,2,3）

共通ルールで定めた 使用部位（注3）	材積（注4,5,6,7）								共通ルールで定めた使用割合、使用量
	対象部位毎の使用量の 合計（A）				左欄のうち「地域材」に 該当する使用量（B）				
				単位				単位	
柱	3	8	2	m3	3	8	2	m3	杉を100%使用
梁・桁	6	5	7	m3	3	4	2	m3	3.42/6.57=52%≧50%
土台	1	2	4	m3	1	2	4	m3	
合計	1	1	6	3	m3	8	4	8	m3
対象木材の使用割合 （B/A×100）						7	2	%	柱・梁・桁・土台の70%に地域材を使用
下地材 （間柱・内部胴縁・天井野縁）						2	3	8	m3
仕上材（カウンター材）						1		ヶ所	仕上材は1ヶ所以上（床材・壁材、カウンター材等）
合計									
対象木材の使用割合 （B/A×100）								%	

部位ごとの共通ルールは、
この欄に記載してください。
共通ルールを確認する計算
式を記入してください。

全体の共通ルールはこの欄
に記入してください。

記入例 6

共通ルールの内容

下地材は間柱、内部胴縁、天井野縁に使用し、仕上材は1ヶ所以上（床材・壁材・カウンター材等）に使用する。

共通ルールで定めた部
位のうち、対象とした
部位を記入してくださ
い。

対象とするもの毎に共通
ルールを記入してくださ
い。

（注1）地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめてください。（使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。）
（注2）共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合うよう集計し記入してください。
（注3）工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材（柱・梁・桁・土台）を他の工法で読み替える場合は、丸太組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枿、上下枿	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階（最下階）床は含まれません。 ※2 大引は含まれません。

（注4）木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。
（注5）共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、（A）欄には対象部位の木材の全使用量を、（B）欄には（A）欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
（注6）共通ルールで「○○m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、（A）欄は空欄とし、（B）欄に「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。
（注7）共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。
（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。【H27】建築物 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量計画表

1枚に記載できない場合は、この
様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。
【H27】建築物と記載されている様
式を使用してください。

地域材使用に関する共通ルールの、
具体的取り組み内容が確認できる
よう、使用部位、使用量、使用割
合を記入してください。

- ・グループを通して、同じような形式
でまとめてください。
- ・グループ内で、対象としている部位
に違いがないが確認してください。

様式4（建築物）

1の対象建築物につき1枚のシートを作成してください。2以上の対象建築物についてはシートを追加して作成してください。

地域材使用量計画表【補助金申請者記入用】

記入例 7

・対象建築物の建築主

建築主氏名 ◆田 ■郎、◆田 ●子

！ 姓と名の間は文字の間隔を空けて記入してください。複数の場合は

共通ルールの内容

主要構造材（柱・梁・桁・土台）の50%以上に地域材
を使用する。主要構造材と合わせて構造材全体で
80%以上に地域材を使用する。

・地域材を利用する部材の使用量計画表（注1,2,3）

共通ルールで定めた 使用部位（注3）	材積（注4,5,6,7）				共通ルールで定めた使用割合、使用量			
	対象部位毎の使用量の 合計（A）		左欄のうち「地域材」に 該当する使用量（B）		使用割合 (B/A×100)		使用量	
	単位	単位	単位	単位				
柱	3	8	2	m3	3	8	2	m3
梁・桁	6	5	7	m3	3	4	2	m3
土台	1	2	4	m3	1	2	4	m3
合計	1	1	6	3	8	4	8	m3
対象木材の使用割合 (B/A×100)						7	2	%
主要構造材 (柱・梁・桁・土台)	1	1	6	3	8	4	8	m3
2次部材 (母屋・棟木・大引・束)	6	3	5	m3	6	3	5	m3
2次部材 (間柱・筋交等)	2	8	3	m3	2	8	3	m3
合計	2	0	8	1	1	7	6	6
対象木材の使用割合 (B/A×100)						8	4	%
合計								
対象木材の使用割合 (B/A×100)								%

前段の共通ルールを記入
してください。

共通ルールに応じて集計
し、使用割合も算定して
ください。

後段の共通ルールを記入
してください。

(注1) 地域材使用に関する共通ルールを満たしていることが確認できるよう記入し、グループを通して、同じような形式でまとめて
ください。(使用部位は、共通ルールに合わせて修正、追記してください。)

(注2) 共通ルールで、主要構造材や羽柄材等、部位毎に「使用割合」や「使用量」を定めている場合は、共通ルールの内容に合
うよう集計し記入してください。

(注3) 工法に応じた部位名を記載してください。在来工法の主要構造材（柱・梁・桁・土台）を他の工法で読み替える場合は、丸太
組工法については、「使用する木材全量」で読み替え、2×4工法については、下表のとおり読み替えることとします。

在来工法	柱	梁	桁	土台
2×4工法	縦枅、上下枅	床根太、端根太 ※1	頭つなぎ	土台 ※2

※1 1階（最下階）床は含まれません。

※2 大引は含まれません。

(注4) 木材の使用量は、小数点以下第3位切り捨てとし、使用割合は小数点以下切り捨てとして記入してください。

(注5) 共通ルールで「全てに使用する」「過半に使用する」「○○%以上使用する」等、使用割合を定めている場合は、(A)欄に
は対象部位の木材の全使用量を、(B)欄には(A)欄のうち「地域材」に該当する木材の使用量を記入してください。

(注6) 共通ルールで「○○m3以上使用する」等、使用量を定めている場合は、(A)欄は空欄とし、(B)欄に「地域材」に該当する
木材の使用量を記入してください。

(注7) 共通ルールに応じて「単位」欄に、「m3」「m2」「枚」等の単位を記入してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。【H27】建築物 地域型住宅グリーン化事業 地域材使用量計画表

1枚に記載できない場合は、この
様式を複数枚作成してください。

使用する様式は正しいですか。
【H27】建築物と記載されている様
式を使用してください。